

令和 5 年度

鹿追町国民健康保険病院事業会計
決 算 審 査 意 見 書

鹿 追 町 監 査 委 員

(注)

- 1 文中及び本文各表中の金額で千円単位、百万円単位で表示しているものは、単位未満を四捨五入している。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第3位を四捨五入している。
- 3 ポイントとは、パーセンテージ間又は指数間の差引数値である。
- 4 各表の符号等用法は次のとおりである。
 - 「△」・・・・・・ 負数又は減数
 - 「0」「0.0%」・・ 0又は単位未満のもの
 - 「皆増」・・・・・・ 前年度に数値がなく、当年度から全額増加した比率
 - 「皆減」・・・・・・ 前年度に数値があり、当年度から全額減少した比率
- 5 上記のように処理した結果、文中及び各表の数値とその内容の累計値とが一致しない場合や、他部局作成の資料等の数値とは一致しない場合がある。

令和 6 年 8 月 31 日

鹿追町長 喜 井 知 己 様

鹿追町監査委員 野 村 英 雄

鹿追町監査委員 畑 久 雄

令和 5 年度鹿追町国民健康保険病院事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 5 年度鹿追町国民健康保険病院事業会計決算は、審査の結果、次のとおりであったので意見を付して報告する。

1 審査の対象会計

令和 5 年度鹿追町国民健康保険病院事業会計

2 審査の期間

令和 6 年 7 月 1 日から 7 月 31 日まで

3 審査の方法

審査に当たっては、決算報告書の他、決算付属書（以下決算諸表という）について計算の正確性、予算執行の適否、また関係法令に準拠して作成され企業としての経営成績、財政状態が適正、正確に表示されているかについて審査した。

また、病院の経営内容を把握するため、計数の分析を行って経済性の発揮及び公共性の確保を主眼に考察した。

4 監査の結果

（1）現金及び預金等について

現金及び預金については、別（地方自治法第 235 条の 2 第 1 項、地方公営企業法第 31 条）に定めるところにより例月出納検査を実施しているので、審査の範囲外とした。

なお、現金はすべて鹿追町会計管理者の掌握下に置かれており、正確であることを認めた。

(2) 棚卸資産等について

薬品については棚卸表・仕入価格表を対照し調査、減価償却費についてはそれぞれ諸表により調査し、適正であることを認めた。

(3) 決算諸表について

本決算報告書及び関係諸帳簿は法令に基づいて作成され、その計数は関係書類と照合した結果正確である。また、審査の結果、公営企業の会計原則に従い経営成績及び財政状況が適正に表示されているものと認めた。

(4) 当初予算と補正予算の状況について

当初予算では、収益的収支の収入で年間入院患者数 9,125 人、外来患者数 17,080 人と見込み、医業収益を 340,091,000 円、前年度比 1,432,000 円増とした。

そのほかに、他会計補助金 268,887,000 円を含めた医業外収益を 283,427,000 円、特別利益として 1,000 円を組み入れ、病院事業収益を 623,519,000 円、前年度比 6,588,000 円（1.07%）増とした。

それに対し、補正で年間入院患者数を 3,030 人増の 12,155 人、外来を 1,218 人減の 15,862 人に、また、1 日平均患者数の入院 25 人を 33 人に、外来 70 人を 65 人に改め、医業収益を 7,231,000 円増の 347,322,000 円、医業外収益を 9,661,000 円減の 273,766,000 円、特別利益を前年度同額の 1,000 円とし、事業収益合計を 2,430,000 円減の 621,089,000 円とした。

支出では、当初予算で医業費用 620,048,000 円、医業外費用 3,441,000 円、特別損失 30,000 円と見込み、病院事業費用 623,519,000 円、前年度比 6,588,000 円（1.07%）増とした。

それに対し、補正で医業費用を 11,705,000 円増の 631,753,000 円、医業外費用を 1,000,000 円減の 2,441,000 円、特別損失は 29,000 円減の 1,000 円、事業費用合計を 10,676,000 円増の 634,195,000 円とした。

また、資本的収支の当初予算は、収入が他会計補助金 0 円、前年度比 3,259,000 円（100.00%）減、支出が建設改良費（器械備品購入費）1,600,000 円と企業債償還金 20,807,000 円で合計 22,407,000 円、前年度比 25,863,000 円（53.58%）減、支出額に対する収入不足額 22,407,000 円は、過年度分損益勘定留保資金で補填するとした。

それに対し、収入に補正はなく、支出では建設改良費 8,894,000 円増の 10,494,000 円とし、企業債償還金 20,807,000 円を含め合計 31,301,000 円、前年度比 16,611,000 円（34.67%）減とした。

これに基づき、令和 5 年度決算の審査結果を報告する。

収益的収入及び支出

単位:円

区 分			令和5年度			令和4年度 当初予算額	当初予算額の 比較増減
			当初予算額	補正予算額	予算現額		
収 入	病院 事業 収益	医業収益	340,091,000	7,231,000	347,322,000	338,659,000	1,432,000
		医業外収益	283,427,000	△ 9,661,000	273,766,000	278,271,000	5,156,000
		特別利益	1,000	0	1,000	1,000	0
		合 計	623,519,000	△ 2,430,000	621,089,000	616,931,000	6,588,000
支 出	病院 事業 費用	医業費用	620,048,000	11,705,000	631,753,000	614,122,000	5,926,000
		医業外費用	3,441,000	△ 1,000,000	2,441,000	2,779,000	662,000
		特別損失	30,000	△ 29,000	1,000	30,000	0
		合 計	623,519,000	10,676,000	634,195,000	616,931,000	6,588,000

(※金額は消費税込み)

年間患者数

単位:人

区 分	令和5年度				令和4年度				実績数の 比較増減
	当初予定数	補正数	補正後予定数	実績数	当初予定数	補正数	補正後予定数	実績数	
入 院	9,125	3,030	12,155	12,422	9,855	△ 1,460	8,395	8,774	3,648
外 来	17,080	△ 1,218	15,862	15,979	16,940	484	17,424	17,245	△ 1,266
合 計	26,205	1,812	28,017	28,401	26,795	△ 976	25,819	26,019	2,382

資本的収入及び支出

単位:円

区 分		令和5年度				令和4年度				比較増減	
		当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	当初予算額	決算額
収 入	出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計補助金	0	0	0	0	3,259,000	△ 1,557,000	1,702,000	1,613,000	△ 3,259,000	△ 1,613,000
	国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	3,259,000	△ 1,557,000	1,702,000	1,613,000	△ 3,259,000	△ 1,613,000
支 出	建設改良費	1,600,000	8,894,000	10,494,000	10,493,890	8,600,000	△ 358,000	8,242,000	8,241,200	△ 7,000,000	2,252,690
	企業債償還金	20,807,000	0	20,807,000	20,806,690	39,670,000	0	39,670,000	39,669,437	△ 18,863,000	△ 18,862,747
	合 計	22,407,000	8,894,000	31,301,000	31,300,580	48,270,000	△ 358,000	47,912,000	47,910,637	△ 25,863,000	△ 16,610,057

(※金額は消費税込み)

(5) 執行状況について

令和5年度決算の執行状況は、下記のとおりである。

単位:円

区 分	予 算 額	決 算 額	割 合
病院事業収益	621,089,000	633,461,973	101.99%
病院事業費用	634,195,000	618,057,294	97.46%

(※金額は消費税込み)

(6) 事業及び収益について

事業量は、入院では療養病床利用率が 54.11%で前年度比 13.37 ポイント増、一般病床利用率は 77.06%で前年度比 24.09 ポイント増、患者数は 12,422 人で前年度比 3,648 人(41.58%) 増である。

病床利用率合計は 67.88%で前年度比 19.80 ポイント増であり、国の直接指導対象外となる 70%に近付いている。

外来は 15,979 人、前年度比 1,266 人 (7.34%) 減、総患者数は 28,401 人、前年度比 2,382 人(9.15%) 増である。

入院については、自宅療養及び介護施設での看取り・療養が増えたため減少していたが、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、患者数が戻りつつある。

外来は前年度比 1,266 人減であったが、令和 6 年 3 月に町内の個人病院が閉院したため増加の兆しがある。国保病院は町内単独の病院となるため、町民の期待は一層強まる。今後も先を見据えた対策と研究により、町民に不便のない信頼される医療を提供しなければならない。

事業及び収益

区 分		令和 5 年度			令和4年度 実 績 数	実績数の 比較増減	増減率
		補正後予算額・計画数	実 績 数	予算・実績比較増減			
入院	診療実績(人)	12,155	12,422	267	8,774	3,648	41.58%
	診療単価(円)	13,581	13,737	156	15,508	△ 1,771	△11.42%
	収益小計(円)	165,083,000	170,636,412	5,553,412	136,065,341	34,571,071	25.41%
外来	診療実績(人)	15,862	15,979	117	17,245	△ 1,266	△7.34%
	診療単価(円)	9,882	9,982	100	10,315	△ 333	△3.23%
	収益小計(円)	156,753,000	159,507,415	2,754,415	177,879,891	△ 18,372,476	△10.33%
合計	診療実績(人)	28,017	28,401	384	26,019	2,382	9.15%
	診療単価(円)	11,487	11,624	137	12,066	△ 442	△3.66%
	収益合計(円)	321,836,000	330,143,827	8,307,827	313,945,232	16,198,595	5.16%

(※金額は消費税抜き)

(7) 経営成績について

経営成績の推移(令和 2 年度から令和 5 年度) は、別表 1 「比較損益計算書」及び別表 2 「比較貸借対照表」が示すとおりである。

詳細については以下のとおりである。

ア 医業収益について

医業収益は 356,407,400 円で、前年度比 12,169,138 円 (3.54%) 増である。

内訳は、入院で 170,636,412 円、前年度比 34,571,071 円 (25.41%) 増、外来で 159,507,415 円、前年度比 18,372,476 円 (10.33%) 減であり、入院・外来合計で 330,143,827 円、前年度比 16,198,595 円 (5.16%) 増である。

また、診療単価は入院・外来の合計で前年度比 442 円減である。

その他医業収益は 26,263,573 円、前年度比 4,029,457 円（13.30%）減である。

内訳は、公衆衛生活動収益 13,096,026 円、前年度比 5,088,683 円減、医療相談収益 7,338,151 円、前年度比 757,513 円減、その他医業収益では、主治医意見書作成等の文書料 742,398 円、紙おむつ・洗濯料・貸布団・器具使用料等で 5,086,998 円、合計 5,829,396 円、前年度比 1,816,739 円（45.28%）増である。

医業収益

単位:円

区 分		令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比	
				増減額	増減率
入院収益		170,636,412	136,065,341	34,571,071	25.41%
外来収益		159,507,415	177,879,891	△ 18,372,476	△10.33%
小 計		330,143,827	313,945,232	16,198,595	5.16%
その他医業収益	公衆衛生活動	13,096,026	18,184,709	△ 5,088,683	△27.98%
	医療相談	7,338,151	8,095,664	△ 757,513	△9.36%
	そ の 他	5,829,396	4,012,657	1,816,739	45.28%
	小 計	26,263,573	30,293,030	△ 4,029,457	△13.30%
合 計		356,407,400	344,238,262	12,169,138	3.54%

（※金額は消費税抜き）

イ 医業外収益について

医業外収益は 273,667,233 円、前年度比 23,712,367 円（9.49%）増である。

内、他会計補助金は 249,320,470 円で、前年度比 18,990,389 円（8.24%）増である。

内訳は、町の補助金が企業債償還利息 896,470 円と、病院事業運営費 87,703,000 円で合計 88,599,470 円、前年度比 39,351,389 円（79.90%）増、国からの地方交付税等交付金 157,252,000 円、前年度比 20,232,000 円（11.40%）減、臨時医師費用の一部を補助する直診繰出金 3,469,000 円、前年度比 129,000 円（3.59%）減であり、国からの交付金及び補助金が前年度比 20,361,000 円減で、町からの補助金（事業運営費）が前年度比 39,701,000 円増となった。

また、補助金として医療施設等物価高騰対策支援金 600,000 円、医療施設等食材料費支援金 480,000 円、感染症病床確保促進事業補助金 9,507,000 円、医療提供体制施設整備交付金 561,000 円、合計 11,148,000 円、前年度比 4,274,440 円増が交付された。

他に受取利息配当金 424 円、前年度比 203 円（91.86%）増、長期前受金戻入金 5,587,648 円、前年度比 169,135 円（3.12%）増、患者外給食収益 54,250 円、前年度比 190 円（0.35%）増、その他医業外収益は 7,556,441 円、前年度比 278,010 円（3.82%）増である。

その他医業外収益の内訳は、しゃくなげ荘・もみじの里・自衛隊等に対する医師の

受託料 3,054,562 円と、医師・看護師の住宅使用料 759,753 円、休日夜間診療確保対策事業交付金 2,178,000 円、産業医受託料 75,819 円、北海道知事及び北海道議会議員選挙不在者投票特別経費 10,730 円、テレビ・自販機・公衆電話・コピー・マスク等の利用及び管理・販売料 250,070 円、外科診療受託料（協会病院より） 1,145,459 円、実習生謝礼金及び施設使用料 80,320 円、自動車保険返還金 1,728 円の収入である。

医業収益の「その他医業収益」の公衆衛生活動収益・医療相談収益・その他医業収益を合わせた 26,263,573 円と、患者外給食収益 54,250 円、医業外収益の「その他医業外収益」7,556,441 円を合わせた 33,874,264 円の直接医業に関わらない収入は、全事業収益の 5.38%（前年度比 0.95%減）であるが、貴重な収入源となっている。

医業外収益

単位:円

区 分			令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比	
					増減額	増減率
受取利息配当金			424	221	203	91.86%
長期前受金戻入			5,587,648	5,418,513	169,135	3.12%
他会計補助金	町補助金	企業債利息	896,470	1,246,081	△ 349,611	△28.06%
		事業運営費	87,703,000	48,002,000	39,701,000	82.71%
		小 計	88,599,470	49,248,081	39,351,389	79.90%
	国補助金	病院交付税	157,252,000	177,484,000	△ 20,232,000	△11.40%
		直診繰出金	3,469,000	3,598,000	△ 129,000	△3.59%
		小 計	160,721,000	181,082,000	△ 20,361,000	△11.24%
	合 計		249,320,470	230,330,081	18,990,389	8.24%
患者外給食収益			54,250	54,060	190	0.35%
その他医業外収益			7,556,441	7,278,431	278,010	3.82%
補助金	コロナワクチン個別接種 促進事業支援金		0	6,273,560	△ 6,273,560	皆減
	医療施設等物価高騰対策 支援金		600,000	600,000	0	0.00%
	感染症病床確保促進事業 補助金		9,507,000	0	9,507,000	皆増
	医療提供体制設備整備 交付金		561,000	0	561,000	皆増
	医療施設等食材料費 支援金		480,000	0	480,000	皆増
	小 計		11,148,000	6,873,560	4,274,440	62.19%
	総 計			273,667,233	249,954,866	23,712,367

（※金額は消費税抜き）

ウ 医業費用について

（ア）給与費

給与費は 389,090,505 円で、前年度比 18,478,134 円（4.99%）増である。

医業収益に占める給与費の割合は 109.17%、前年度比 1.51%増で、事業収益では 61.75%、前年度比 0.61%減である。

報酬は 57,460,016 円、前年度比 4,553,641 円 (8.61%) 増である。これは臨時医師 13 人、延べ 83 回で 17,396,500 円、前年度比 1,543,000 円 (9.73%) 増、会計年度任用職員 40,063,516 円、前年度比 3,010,641 円 (8.13%) 増である。臨時医師分には、放射線技師不在時 16 日間分の 241,000 円が含まれている。

本町病院は少人数の常勤医師体制であり、臨時医師派遣は必要な措置と考える。町民ニーズに合わせた医療を定期的に提供する事は妥当と判断する。

他に法定福利費 67,770,879 円、前年度比 2,598,293 円 (3.69%) 減、賞与引当金繰入額 21,821,000 円、前年度比 8,301,000 円 (61.40%) 増、法定福利費引当金繰入額 3,695,000 円、前年度比 1,305,000 円 (54.60%) 増である。

医業収益及び事業収益に対する人件費の充当率は、医業収益で前年度より多少増、事業収益は多少減となったが依然として高い。特に医業収益充当率が前年同様に 100% を超えている。

令和 5 年度は看護師不足に係る人材確保のための支出が多くみられるが、病院は人件費が主経費であり削減は難しい状況である。経営面等厳しい中、収益増に努めることを期待する。

給与費

単位:円

区 分		令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比	
				増減	増減率
医 業 収 益 (対比)	医業収益の合計	356,407,400	344,238,262	12,169,138	3.54%
	給 与 費	389,090,505	370,612,371	18,478,134	4.99%
	給与費の充当率	109.17%	107.66%	1.51 ^{ポイント}	1.40%
事 業 収 益 (対比)	事業収益の合計	630,074,633	594,269,428	35,805,205	6.03%
	給 与 費	389,090,505	370,612,371	18,478,134	4.99%
	給与費の充当率	61.75%	62.36%	△0.61 ^{ポイント}	△0.98%

(※金額は消費税抜き)

(イ) 材料費

材料費は 61,415,093 円で、前年度比 1,735,983 円 (2.90%) 増である。

内訳は薬品費 34,441,975 円、前年度比 1,463,532 円 (4.44%) 増、診療材料費 27,003,118 円、前年度比 269,451 円 (1.01%) 増である。

薬品については、年 3 回在庫調査を実施している。

薬品は適正に管理し、廃棄処分等がないよう経費節減に一層の努力を求める。

(ウ) 経費

経費は 107,901,763 円で、前年度比 3,423,659 円 (3.28%) 増である。

内訳は委託料 74,836,937 円、前年度比 3,971,318 円（5.60%）増であり、これは診療委託の看護師派遣業務で 1 社増加し 5,880,580 円、前年度比 4,096,349 円（消費税込み）増が主な要因である。

また、各病院に支出している専門外来診療委託料の診療 4 科目 3,280,000 円、他に日・当直診療委託料 1,320,000 円を含めた合計は 4,600,000 円、前年度比 1,158,788 円（いずれも税込み）減である。

各病院との契約で実施している当事業は必要とみるが、今後診療科目等を検討し、住民の要望に応える努力を切に望む。

他に賃借料、前年度比 959,883 円増、修繕費、前年度比 1,905,011 円減がある。

委託料を除いた経費は各所に削減努力がみられるが、年度により変動がある。費用の中で大きな割合を占めていることから、これからも経費削減は不可欠であり、より一層の努力を期待する。

専門外来診療業務委託料

診療科目等	診療回数	年間患者数	委託料
泌尿器科 (帯広協会病院)	12回(月1回)	186人	840,000円
脳神経内科 (北斗病院)	12回(月1回)	109人	600,000円
眼科 (ひかり眼科)	24回(月2回)	344人	960,000円
循環器科 (国立帯広病院)	22回(月2回)	113人	880,000円
合 計			3,280,000円

(※金額は消費税込み)

(エ) 減価償却費

減価償却費は 43,022,584 円、前年度比 6,916 円（0.02%）減である。

土地・構築物に償却はない。建物は 29,442,734 円で前年度同額である。

器械備品 13,492,462 円、前年度比 420,229 円増、車両 87,388 円、前年度比 427,142 円減、他にソフトウェアが 0 円、前年度比 3 円減である。

償却は定額法にて適正に処理されている。

償却された金額は次期資産取得財源となるものであり、適切に管理することが望ましい。

(オ) 資産減耗費

棚卸資産減耗費は薬品の破損、使用期限切れによる廃棄処分で 298,353 円、前年度比 239,744 円減となっている。

期限切れ、廃棄に関しては取り扱いを慎重にし、資産が無駄に消失しないよう留意

されたい。

固定資産除却費は器械備品分で 245,547 円、前年度比 166,158 円増、資産減耗費全体で 543,900 円、前年度比 73,586 円の処分減であった。

(カ) 研究研修費

研究研修費は 318,312 円、前年度比 47,432 円（12.97%）減である。

参考図書購入費と職員の研修旅費が主体となっている。

職員研修は、現代医療の知識取得、技術向上に必要不可欠なことであり、計画的・効率的に行い、さらなる研さんを望むものである。

医業費用

単位:円

区 分		令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比	
				増減額	増減率
給 与 費	給 料	142,491,889	139,534,158	2,957,731	2.12%
	手 当	95,851,721	91,892,666	3,959,055	4.31%
	報 酬	57,460,016	52,906,375	4,553,641	8.61%
	法定福利費	67,770,879	70,369,172	△ 2,598,293	△3.69%
	賞与引当金繰入額	21,821,000	13,520,000	8,301,000	61.40%
	法定福利費引当金繰入額	3,695,000	2,390,000	1,305,000	54.60%
小 計		389,090,505	370,612,371	18,478,134	4.99%
材 料 費	薬品費	34,411,975	32,948,443	1,463,532	4.44%
	診療材料費	27,003,118	26,733,667	269,451	1.01%
	医療消耗備品費	0	0	0	0.00%
小 計		61,415,093	59,682,110	1,732,983	2.90%
経 費		107,901,763	104,478,104	3,423,659	3.28%
減 価 償 却 費	土地減価償却費	0	0	0	0.00%
	建物減価償却費	29,442,734	29,442,734	0	0.00%
	構築物減価償却費	0	0	0	0.00%
	器械備品減価償却費	13,492,462	13,072,233	420,229	3.21%
	車両減価償却費	87,388	514,530	△ 427,142	△83.02%
	ソフトウェア減価償却費	0	3	△ 3	△100.00%
小 計		43,022,584	43,029,500	△ 6,916	△0.02%
資 産 減 耗 費	棚卸資産減耗費	298,353	538,097	△ 239,744	△44.55%
	固定資産除却費	245,547	79,389	166,158	209.30%
小 計		543,900	617,486	△ 73,586	△11.92%
研究研修費		318,312	365,744	△ 47,432	△12.97%
合 計		602,292,157	578,785,315	23,506,842	4.06%

(※金額は消費税抜き)

エ 医業外費用

医業外費用は 16,718,624 円で、前年度比 784,688 円（4.92%）増である。

内訳は、企業債利息 896,470 円、前年度比 349,611 円（28.06%）減、その他雑損失 15,822,154 円、前年度比 1,134,299 円（7.72%）増である。

これは仮払消費税の残高 17,446,894 円から 1,624,740 円（仮受消費税 3,387,340 円から前払費用 940,500 円と未払消費税 822,100 円を相殺した額）を差し引いた仮払消費税 15,822,154 円を雑損失として組み入れたものである。

医業外費用

単位:円

区 分	令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比	
			増減額	増減率
企業債支払利息	896,470	1,246,081	△ 349,611	△28.06%
一時借入金利息	0	0	0	0.00%
その他雑損失	15,822,154	14,687,855	1,134,299	7.72%
合 計	16,718,624	15,933,936	784,688	4.92%

（※金額は消費税抜き）

オ 特別損失

令和5年度の特別損失はない。

カ 特別利益

令和5年度の特別利益はない。

（8）資本的収支について

別表3「比較資本的収支計算書」参照

資本的収入の出資金及び他会計補助金の計上はない。

資本的支出は 30,346,590 円、前年度比 16,814,847 円（35.65%）減である。

内訳は、建設改良費で有形固定資産購入費（器械備品）1,789,900 円、前年度比 5,702,100 円（76.11%）減、施設整備費（建物改良費）7,750,000 円、合計 9,539,900 円、前年度比 2,047,900 円（27.33%）増、企業債償還金 20,806,690 円、前年度比 18,862,747 円（47.55%）減である。

（9）資産について

別表2「比較貸借対照表」参照

ア 固定資産（有形・無形）

固定資産は 532,503,807 円で、前年度比 33,728,231 円（5.96%）減である。

内訳は、土地・構築物に異動はなく、建物 470,744,082 円、前年度比 29,442,734 円（5.89%）減、器械備品 52,112,564 円、前年度比 11,776,159 円（18.43%）減、車両は 85,841 円、前年度比 259,338 円（75.13%）減である。また、スプリンクラー新設工事に伴い、建設仮勘定 7,750,000 円が計上された。無形固定資産の計上はない。

また、増加資産は器械備品 6 件分合計で 1,789,900 円が計上された。

除却資産は、器械備品 3 件分合計で 1,471,928 円と車両 3,439,000 円を除却した。

決算書 12 頁「固定資産明細書」参照

固定資産

単位:円

区 分		令和5年度		令和4年度 決算額	決算額の 比較増減	増減率
		決算額	減価償却額			
有形	土 地	1,560,000	0	1,560,000	0	0.00%
	建 物	470,744,082	29,442,734	500,186,816	△ 29,442,734	△5.89%
	構 築 物	251,320	0	251,320	0	0.00%
	器械備品	52,112,564	13,492,462	63,888,723	△ 11,776,159	△18.43%
	車 両	85,841	87,388	345,179	△ 259,338	△75.13%
	建設仮勘定	7,750,000	0	0	7,750,000	皆増
小 計		532,503,807	43,022,584	566,232,038	△ 33,728,231	△5.96%
無形	ソフトウェア	0	0	0	0	0.00%
	小 計	0	0	0	0	0.00%
合 計		532,503,807	43,022,584	566,232,038	△ 33,728,231	△5.96%

イ 流動資産

現金預金は 360,075,595 円で、前年度比 27,139,620 円増である。

未収金は 51,537,018 円、前年度比 3,538,991 円増である。

内訳は、大半が保険診療報酬（国保ほか 5 件に係るもの）46,457,505 円であり、これは遅れてでも完納になる。

一方、入院・外来が主となる患者未収金は、前年度比 1,219,549 円増の 5,063,145 円で、令和 5 年度分は大半が翌月に納入されるが、滞納繰越金が 829,883 円となっている。

その他未収金の障害老人・障害者・母子・乳幼児事務手数料は前年度同額の 16,368 円である。

未収金が不納欠損金とならないよう努めるとともに、現年度分が越年して過年度分とならないよう、収納には万全を期すことを切望する。

貯蔵品は、薬品が 1,598,752 円で前年度比 100,607 円増である。

今後とも在庫は多くなることなく推移することが望ましい。

また、固定資産合計 532,503,807 円と流動資産合計 413,211,365 円の資産合計は 945,715,172 円、前年度比 2,949,013 円減である。

流動資産

単位:円

区 分		令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比	
				増減額	増減率
現金預金		360,075,595	332,935,975	27,139,620	8.15%
未 収 金	患者未収金	5,063,145	3,843,596	1,219,549	31.73%
	保険未収金	46,457,505	44,138,063	2,319,442	5.25%
	その他	16,368	16,368	0	0.00%
小 計		51,537,018	47,998,027	3,538,991	7.37%
貯 蔵 品		1,598,752	1,498,145	100,607	6.72%
その他流動資産		0	0	0	0.00%
合 計		413,211,365	382,432,147	30,779,218	8.05%

(※金額は消費税抜き)

患者未収金

単位:円

区 分	令和5年度		令和4年度	令和3年度	令和2年度
		対前年度比			
入 院	2,239,140	319,420	1,919,720	1,817,620	1,656,790
外 来	579,868	353,427	226,441	238,350	527,660
公衆衛生活動収益	816,241	271,960	544,281	3,493,279	434,059
医 療 相 談 収 益	404,738	59,273	345,465	219,358	224,810
その他医業収益	1,018,153	215,700	802,453	747,971	825,575
その他医業外収益	5,005	△ 231	5,236	9,724	11,352
合 計	5,063,145	1,219,549	3,843,596	6,526,302	3,680,246

(※金額は消費税抜き)

(10) 負債について

ア 固定負債について

企業債は、令和5年度当初額の 55,408,140 円から、令和6年度償還予定額 21,018,091 円を差し引き 34,390,049 円となった。

イ 流動負債について

一時借入金は無く、未払金は 27,955,481 円、前年度比 7,926,406 円増である。

内訳は、医業未払金 4,936,994 円、その他未払金 22,196,387 円、未払消費税 822,100 円で、これらは3月末以降の支払であり、既に大半が支払い済みである。

引当金の内訳は、賞与引当金で前年度繰越金 26,426,262 円から 17,846,589 円を支

出し、残額 8,579,673 円と令和 5 年度の繰入金 21,821,000 円の合計 30,400,673 円が次年度繰越金となった。

法定福利費引当金は、前年度繰越金 3,960,123 円から北海道市町村職員共済組合へ 3,206,265 円、北海道市町村職員福祉協会へ 8,079 円支出、残額 745,779 円に令和 5 年度引当金繰入額として 3,695,000 円を繰り入れ、次期繰越額を 4,440,779 円とした。

流動負債の企業債は 20,806,690 円を償還し、次期償還額が 21,018,091 円となった。

ウ 繰延収益について

寄附金は前年同額の 5,635,680 円、補助金は前期繰越の 165,981,130 円から、長期前受金収益化累計額 169,642 円と長期前受金戻入 8,929 円（いずれも国庫補助金分）を返済し 165,802,559 円となった。

その他長期前受金は前年残額の 25,850,600 円から長期前受金収益化累計額 3,267,050 円と長期前受金戻入 171,950 円（いずれも一般会計繰入金分）を引いた 22,411,600 円となった。

寄附金、補助金、その他長期前受金の合計 193,849,839 円から収益化累計額 143,878,941 円を引いた 49,970,898 円が繰延収益である。

負債の部

単位:円

区 分		令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	対前年度比		
				増減額	増減率	
固定負債・企業債		34,390,049	55,408,140	△ 21,018,091	△37.93%	
流動負債	一時借入金	0	0	0	0.00%	
	未払金	医業未払金	4,936,994	3,383,523	1,553,471	45.91%
		未払消費税	822,100	624,200	197,900	31.70%
		その他未払金	22,196,387	16,021,352	6,175,035	38.54%
		小 計	27,955,481	20,029,075	7,926,406	39.57%
	引当金	賞与引当金	30,400,673	26,426,262	3,974,411	15.04%
		法定福利費引当金	4,440,779	3,960,123	480,656	12.14%
		小 計	34,841,452	30,386,385	4,455,067	14.66%
	企 業 債	21,018,091	20,806,690	211,401	1.02%	
	合 計		83,815,024	71,222,150	12,592,874	17.68%
	繰延収益	長期前受金	寄 附 金	5,635,680	5,635,680	0
補 助 金			165,802,559	165,981,130	△ 178,571	△0.11%
その他長期前受金			22,411,600	25,850,600	△ 3,439,000	△13.30%
収益化累計額			△ 143,878,941	△ 141,908,864	△ 1,970,077	△ 1.39
小 計			49,970,898	55,558,546	△ 5,587,648	△10.06%
合 計		49,970,898	55,558,546	△ 5,587,648	△10.06%	
負債合計		168,175,971	182,188,836	△ 14,012,865	△7.69%	

(※金額は消費税抜き)

エ 資本金について

固定資本金は、前年度 6,860,564 円と同額である。

出資金も、736,080,993 円で前年度と同額である。

よって、自己資本金は、固定資本金と出資金を合せた 742,941,557 円である。

オ 剰余金について

前年度末残高 23,533,792 円から、令和 5 年度の純利益 11,063,852 円を組み入れた額 34,597,644 円が（繰越）利益剰余金である。

(11) 備品管理について

備品は、台帳に詳細に記載し把握されており、適切に管理されている。

また、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、病院内部の備品確認は実施していない。

5 総括

令和 5 年度決算において、医業収益は前年度比 12,169 千円増、医業費用も前年度比 23,507 千円の増額となった。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上「5 類感染症」に移行し、行動制限や各所での時間制限・人数制限から解放され、経済活動は緩やかに回復傾向にある。

しかし「5 類感染症」移行に伴い、今後国からの新型コロナウイルス関連補助金は見込めないため、町からの運営補助金の増額が予想される。

過去町内に 3 か所あった病院が現在は町立病院のみとなり、その役割は非常に大きくなっている。

今後も厳しい経営を強いられると思うが、町民の要望に沿った医療サービスが提供できるよう期待する。